

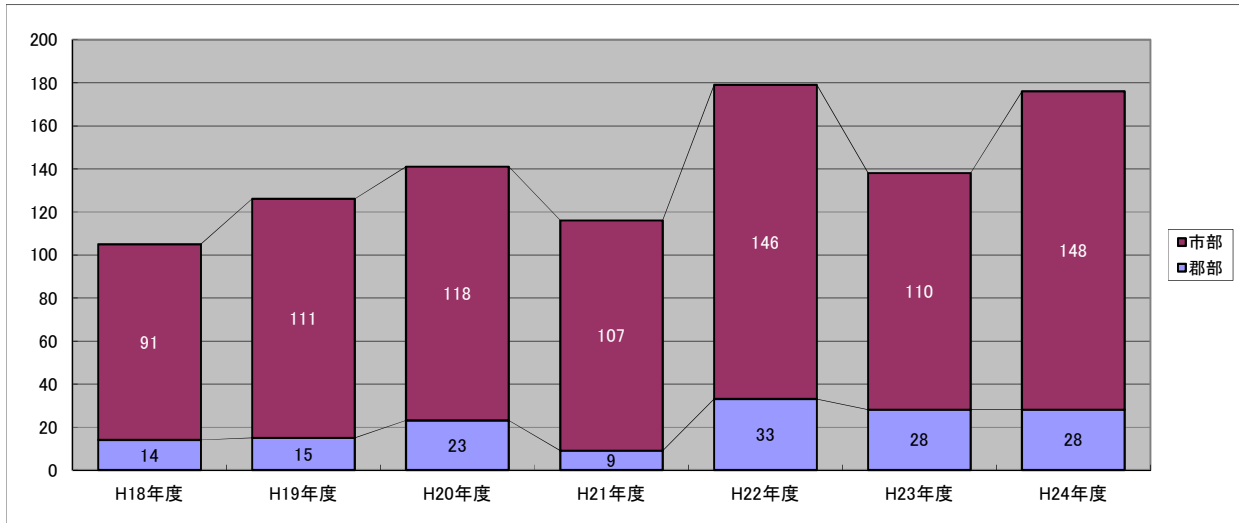
平成24年度沖縄県高齢者虐待の状況

沖縄県内における高齢者虐待事案報告件数は、176件でした。
(うち、養介護施設従事者等による高齢者虐待は、0件。)

高齢者虐待事案報告件数の推移(市町村別)

市町村名	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
合 計	105(3)	126(0)	141(0)	116(1)	179(1)	138(3)	176(0)
市部小計	91	111	118	107	146	110	148
1 那覇市	44	49	52	43	61	30	60
2 宜野湾市	5	2	0	8	7	7	9
3 石垣市	0	6	8	8	5	7	5
4 浦添市	3	2	0	0	6	4	5
5 名護市	0	0	0	2	2	1	1
6 糸満市	0	5	12	6	5	4	4
7 沖縄市	20	23	21	14	21	24	19
8 豊見城市	0	3	3	5	3	2	7
9 うるま市	13	10	18	16	23	15	16
10 宮古島市	2	10	2	5	11	16	21
11 南城市	4	1	2	0	2	0	1
郡部小計	14	15	23	9	33	28	28
12 国頭村	0	0	4	0	3	1	2
13 大宜味村	1	0	0	0	0	0	0
14 東村	0	0	0	0	0	0	0
15 今帰仁村	0	0	0	0	0	0	1
16 本部町	0	2	1	1	1	0	1
17 恩納村	1	5	4	0	1	0	2
18 宜野座村	1	0	0	0	0	0	1
19 金武町	5	0	2	3	4	6	1
20 伊江村	0	0	0	0	0	0	0
21 読谷村	0	0	1	0	0	2	1
22 嘉手納町	1	0	0	0	0	0	2
23 北谷町	2	3	1	0	5	4	1
24 北中城村	1	0	0	0	0	1	1
25 中城村	0	2	3	1	1	1	0
26 西原町	0	1	1	0	5	5	4
27 与那原町	0	0	1	0	0	0	1
28 南風原町	0	0	1	2	6	3	3
29 渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0
30 座間味村	0	0	0	0	0	0	1
31 粟国村	0	0	0	0	0	0	0
32 渡名喜村	0	0	0	0	0	0	1
33 南大東村	0	0	0	0	0	0	2
34 北大東村	0	0	0	0	0	0	0
35 伊平屋村	0	0	0	0	0	0	0
36 伊是名村	0	0	0	0	0	0	0
37 久米島町	1	0	3	1	2	0	1
38 八重瀬町	1	2	1	1	5	5	2
39 多良間村	0	0	0	0	0	0	0
40 竹富町	0	0	0	0	0	0	0
41 与那国町	0	0	0	0	0	0	0

()内は養介護施設従事者等による虐待件数

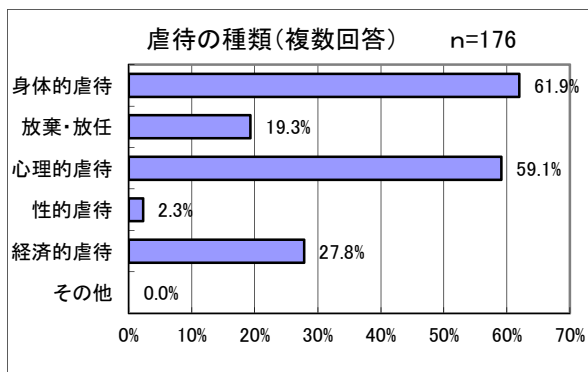


平成24年度 養護者による高齢者虐待の状況 (H24.4.1～H25.3.31)

1 高齢者虐待の種類

(1) 虐待の種類(複数回答)

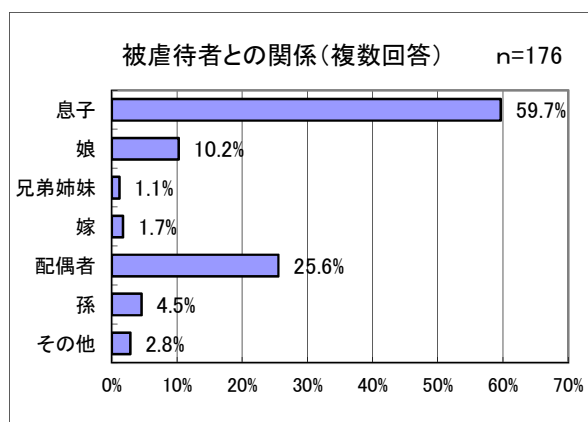
虐待種類	件数	割合
身体的虐待	109	61.9%
放棄・放任	34	19.3%
心理的虐待	104	59.1%
性的虐待	4	2.3%
経済的虐待	49	27.8%
その他	0	0.0%
合計	300	—
被虐待者数	176	



2 主な虐待者の状況

(1) 被虐待者と虐待者の関係(複数回答)

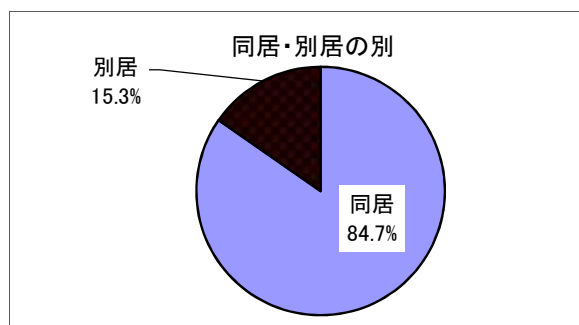
関係	件数	割合
息子	105	59.7%
娘	18	10.2%
兄弟姉妹	2	1.1%
嫁	3	1.7%
配偶者	45	25.6%
孫	8	4.5%
その他	5	2.8%
合計	186	—
被虐待者数	176	



※その他(おい、知人等)

(2) 同居・別居の別

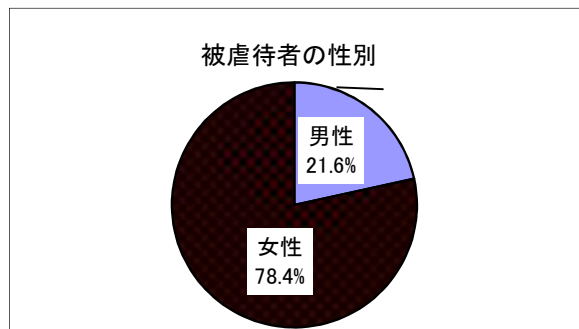
	件数	割合
同居	149	84.7%
別居	27	15.3%
合計	176	100.0%



3 虐待を受けていた高齢者本人の状況

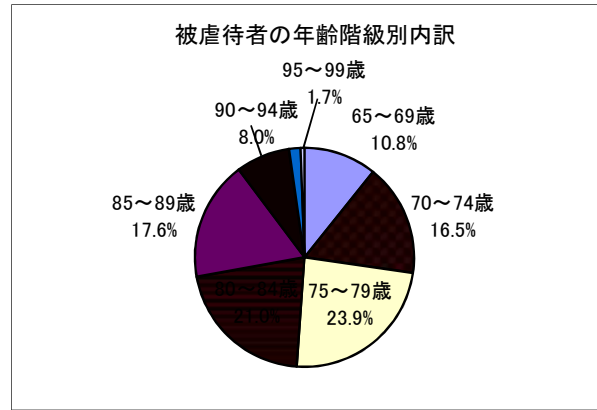
(1) 被虐待者の性別

性別	人数	割合
男性	38	21.6%
女性	138	78.4%
合計	176	100.0%



(2) 被虐待者の年齢階級

年齢階級	人数	割合
65～69歳	19	10.8%
70～74歳	29	16.5%
75～79歳	42	23.9%
80～84歳	37	21.0%
85～89歳	31	17.6%
90～94歳	14	8.0%
95～99歳	3	1.7%
100歳以上	1	0.6%
合計	176	100.0%



(3) 被虐待者の要介護度

要介護度	人数	割合
申請なし	34	19.3%
申請中	3	1.7%
不明	0	0.0%
自立	28	15.9%
要支援1	18	10.2%
要支援2	16	9.1%
要介護1	13	7.4%
要介護2	20	11.4%
要介護3	26	14.8%
要介護4	15	8.5%
要介護5	3	1.7%
合計	176	100.0%

要支援・要介護状態にある方
111人
63.1%

○被虐待者の認知症の日常生活自立度
(要介護認定済者のみ)

自立度	人数	割合
自立	13	11.7%
I	21	18.9%
II a	17	15.3%
II b	20	18.0%
III a	24	21.6%
III b	8	7.2%
IV	6	5.4%
M	2	1.8%
不明	0	0.0%
合計	111	100.0%

※ 要介護認定者111人における認知症日常生活自立度「II以上」の者は69.4%であり、被虐待高齢者全体(176人)の43.8%を占めた。

自立度II以上
77人 69.4%

全被虐待者の 43.8%

4 市町村等のとった措置(複数回答)

対応	件数	割合
訪問調査による事実確認	128	72.7%
関係者からの情報収集	162	92.0%
虐待者との分離	70	39.8%
個別ケース会議開催	111	63.1%
介護保険申請	20	11.4%
ケアプランの見直し	40	22.7%
成年後見の申立	5	2.8%
日常生活自立支援事業の活用	6	3.4%
養護者(虐待者)の支援	78	44.3%
見守りの継続	105	59.7%
その他	44	25.0%
合計	769	

高齢者虐待を判断したすべての事例において、事実確認調査を実施している。

分離の方法として、老人福祉法に基づく措置、介護保険法等契約に基づく入所等、緊急

「その他」の内容として、介護保険法外の生きがいデイサービス等の活用、生活保護申請の支援、見守りネットワークの構築などがある。